



# 園部共同作業所 だより

園部共同作業所発行

〒622-0011  
京都府南丹市園部町上木崎  
町入道32  
電話0771-62-3249  
FAX0771-63-2941

NO 84

## 園部共同作業所の 変遷

杉山所長とは私がくすの木共同作業所をする前の大照学園在任中からのおつき合いで、退職した年の昭和五十九年十二月十三日に自分も何時の日か作業所をしたいという思いを持って見学している、その時の日記を二十年振りにもとくと、「民家を借りて通所者十人（ほとんど精神障害者、中には知的障害者の合併症あり）の共同作業所をこの四月よりやっていた。その前は太陽の園（重度身体障害者施設）のひと間を借りて昭和五十七年秋に発足、補助金あり、作業は電機部品の組み立て、紙袋の仕上げと農家の畑掘りなどの手伝い仕事、弁当持参、職員杉山のみ」と記載している。そして今回九月二十八日に約四十キロ離れた園部町まで愛用のミニバイクで丹波路を駆け抜ける。息子にようバイクで行くわ、と言われ、着いた先ではびっくりされたが、そこは二十七年前とは一見して分らない程、施設の前も広々と整備され、駐車場になって居り、平屋ながら凍らした存在感を漂わせていた。早速室内を見学させてもらったが、年の功で記憶が薄らいだことを差し引いても、

ほとんど以前の面影は何処にもなく、新しい施設を見ていくようにあった。特にオリジナル商品のステンンドグラス制作室には圧倒される。借家ながら色々な補助金を有効に活用し、ここまで見事に改装されているとは、杉山さんの長年の苦勞に感じている。定員も二十名になり、職員も五名程度居られる中、今は下請け作業も順調で落ち着いた雰囲気です。古本をばらし、シュレッダーをかけた材料がクツクツになるユニークな製品には驚く。

何より羨ましかったのは杉山さんの息子さんがどっしりと現場で頑張っている姿、私にも息子が三人居るが、私に継がせたかったが、中々人生ままならぬものである。頼もしい後継者として成長されんことを祈る。昼からは作業所近くの二階建てのグループホームを見学する。私も作業所を始めた当初夢見た一つで興味深くその成り立ちを聞いて、最初は一般のアルバイトだった所に、たまたま入居していた通所者の問題で家主さんと色々関わる内に、グループホーム構想をポロッと漏らしたところ家主さんが前向きに乗って来られたと緑か、これも杉山さんの御

人徳かと思う。中も食堂や調理場、廊下などきれいに改装され、現在四人が活用されている。こうして、二つの施設を障害者自立支援法による新体系の元、これからは運営されていくのは心も運営されたてはなから身共の並大抵ではないだらうが使命を持て多くの人々の幸せのため頑張る下さることを丹波路を後にする。

特定非営利活動法人  
くすの木共同作業所  
理事 浅田喜義

### 思い起こせば⑥



作業所の応接室に京都府知事から感謝状が掛かっています。これは第四十七回「全国野鳥保護のつどい」が丹波自然公園にて開催され、その記念品として当作業所の「筆記」が選ばれ、大量に納品いたしました。保護のつどいでも無事成功したのでそのお礼の意味もあつたのだと思っております。こちらとしましては箸置き代金はキツチリといたたき大儲けさせてもらって、いるので感謝状を見る度に「お尻がこぼれちゃう様な気持ちになりまして、それともうひとつ、今は亡き「マモちゃん」を思い出します。

この箸置きは京都らしさを感じさせる千代紙を使っているのですが、最後の仕上げはニス塗りを、更にプラスチック加工を施したので何度洗っても大丈夫な優れものなんです。大丈夫な「マモちゃん」はこの最後のニスとプライヤティツクを塗るのが得意で、他の仲間には縦横おかまいなしに塗ってしまおうので、筆先を一定方向に神経をつかかって丁寧に筆を上げ、彼の根気よく塗り上げ、美しさが断然違うのです。

彼は皆んなとチムウとくを組んでやっています。誰にしろ下手な仕事は許せない、そのかわり俺ひとりでもやる、そんなタイプの人でしたから、仲間とのケンカ、トラブルが絶えず作業以外でも気が抜けない人でありました。祝日と返上しての作業をして、彼が頼みます。その日の作業が終わった後も、一人残業、塗った箸置きを整然と乾燥棚へ並べて筆もキッチンで洗って立てます。戻してからの特別ボーナスを支給したのです。が、当然彼はダントツのトップ。

ある日彼の家へ用事で行った時、応接室三点セピットに身をすくめてテレビを見ているではありませんか。「この応接セット、ポーナスで買ったんです。コーヒーどうぞ」と笑顔

ふだんの鬼瓦権三の顔がこの時ばかりはかわいく見えたものです。もうこれからはこんな職人気質の人は出てこないと思います。

所長 杉山俊夫

行事・レクレーション

- 十月十八日 日帰りバス旅行 姫路セントラルパークへ行きました。
- 十月二十九日 ソフトボール交流試合
- 十月十一日 残念でした。負け、二十九日、十一月六日 国民文化祭 ステンドグラスと絵画展示

寄贈品（平成二十三年 九月末～十月末日現在）

- 浅田喜義 様 お菓子
- 長曾敏雄 様 魚、もち
- ち、野菜

寄付金

お心遣いありがとうございました。

